

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2021年 第4週（1月25日～1月31日）

今週のコメント

～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、身体的距離の確保、3密の回避が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 増加」

第4週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,025例であり、前週比9.0%増であった。前年同週比では49.3%減（2020年 第4週2,021例）であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.57、0.48、0.38、0.32、0.24であった。

感染性胃腸炎は前週比21%増の700例で、南河内6.50、大阪市南部6.00、北河内5.62、中河内3.80、泉州3.40である。

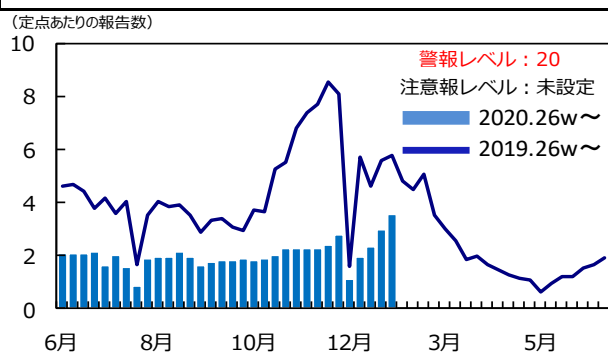
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比12%減の94例で、北河内0.92、泉州0.90、南河内0.69であった。

RSウイルス感染症は前週比17%減の63例で、大阪市北部1.79、大阪市南部0.71、大阪市東部0.53であった。

咽頭結膜熱は前週比9%増の47例で、南河内0.50、中河内・泉州0.40である。

インフルエンザは3例で、定点あたり報告数は0.01であり、昨年同週に比し著減した（2020年 第4週 6,358例）。

感染性胃腸炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

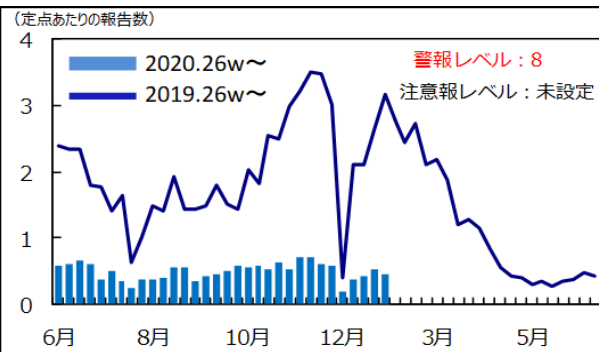


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2021年 第4週1月25日～1月31日）

第4週の 順位	第3週の 順位	感染症	2021年 第4週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2020年 第4週の 定点あたり 報告数	2021年第4週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	3.57	21%増	5.59	1歳_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	12%減	2.66	5歳_16%
3	3	突発性発しん	0.38	4%減	0.27	1歳_64%
4	4	RSウイルス感染症	0.32	17%減	0.47	1歳_29%
5	5	咽頭結膜熱	0.24	9%増	0.32	1歳_30%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.01	50%増	21.19	1歳未満_4歳_20歳以上_ 33%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2020年第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第4週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防（マスク着用、身体的距離の確保、手洗い、3密の回避）の徹底を



表2. 大阪府全数報告数（2021年 第4週1月25日～1月31日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】発生動向調査＞全数報告 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 報 告 数
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3					3				8
5 類感染症	急性弛緩性麻痺	1							1		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	3
	梅毒	7	1			1			1	4	45
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				1					2
	百日咳	1						1			2
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	2,268									43,722
結核 (2020年12月分)	結核 新登録患者数：114名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 39名) (府内累積報告数 1,416名、内 肺・喀痰塗抹陽性 543名)										

(2021年2月2日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。](#)